

今、歴史的建築物を遺す意義は何か？

— 先人のこころをのこすこころをつなぐ —

平成24年 **1/13** (金) 時間:午後13:30～16:30
場所:「杉妻会館・4階牡丹」(福島県福島市杉妻町3-45)

※写真は、明治44年に建てられた県物産館(のち県立図書館)で、木造モルタル三階建ての典雅な洋風建築でしたが昭和35年に消失しました。

今回の東日本大震災においては、土蔵をはじめ近代西洋建築物など歴史的な建築物も甚大な被害を受けました。これらの建築物は伝統工法によるもので、補修には膨大な費用がかかってしまうことから維持管理を断念するケースが現れてきています。しかしこれらの多くは、地域の伝統、技術、文化、景観を未来につなぐ重要な建築物であり、今、適切な維持保全がなされず、将来にわたって解体滅失を余儀なくされるならば、やがてはふくしまの原風景を失うこととなります。

そこで、まず、個人の資産ではあるが、地域の公共財産である認識を深めることから始めなくてはなりません。今回、日本の古民家再生の草分けでもある降幡廣信先生の御講演から、なぜ古い建築物を未来に遺す必要があるのか?所有者、建築関係者、行政、そして市民の役割を考えていきたいと思ひます。

■次第

- ①開会あいさつ 13:20～
- ②講演会 13:30～14:50
- ③パネルディスカッション 15:00～16:30
- ④住宅相談・耐震改修相談 13:20～17:00

■会場案内図



●県庁外来駐車場をご利用下さい。

第1部 講演会 午後 13:30～14:50

演題:「今、どうして歴史的建築物か？」

(株)降幡建築設計事務所 代表 降幡 廣信 氏



降幡廣信 氏 プロフィール

1929年 長野県生まれ
1951年 青山学院専門学校 建築科卒業
1953年 関東学院大学 建築学科卒業
1961年 家業の山共建設株式会社を継承(三代目)・現会長
1963年 (株)降幡建築設計事務所設立・同所長
1982年 はじめての民家再生 松本市草間邸再生工事終える
1990年 民家再生における多年の業績で日本建築学会賞受賞
その他作品賞多数受賞
元 大阪市立大学生活科学部住居学科 非常勤講師(1984年～1989年)
元 信州大学社会開発工学(建築)非常勤講師(1991年～2003年)

●著書

『古民家再生ものがたり』(晶文社)
『民家の再生 降幡廣信の仕事』(建築資料研究社)
『民家再生の設計手法』(彰国社)
『民家再生の実践』(彰国社)
『民家建築の再興』(鹿島出版社)
『現代の民家再考』(鹿島出版会)

第2部 パネルディスカッション 午後 15:00～16:30

コーディネーター: 時野谷 茂 氏 会津大学短期大学部産業情報学科学科長・教授

パネラー: ペトル・ホリー 氏 チェコセンター 所長

紺野 滋 氏 あら!福島の会 代表(福島民友新聞社論説委員)

オブザーバー: 鈴木 勇人 氏 福島県建築士事務所協会理事 青年部会員

降幡 廣信 氏 (株)降幡建築設計事務所 代表

■お問合せ

福島県耐震化・リフォーム等推進協議会(事務局/福島県建築安全機構) 福島市五月町4-25(建設センター5F) TEL024-563-6213 FAX024-529-5274

主催/福島県 (社)福島県建築士事務所協会 建築復興支援センター 福島県耐震化・リフォーム等推進協議会/福島県空き家・古民家相談センター

後援/(社)福島県建築士会 JIA福島地域会 あら!福島の会 特定非営利活動法人日本民家再生協会 特定非営利活動法人日本民家再生協会 福島県 民家の会

今、歴史的建築物を遺す意義は何か？

参加申込書

FAX⇒024-529-5274

所属団体	氏名	相談をご希望の方は、いずれかをお選びください(複数可)
		<input type="checkbox"/> 住宅相談 <input type="checkbox"/> 耐震改修相談
		<input type="checkbox"/> 住宅相談 <input type="checkbox"/> 耐震改修相談
		<input type="checkbox"/> 住宅相談 <input type="checkbox"/> 耐震改修相談

※耐震改修に関するご相談の方は診断報告書をご持参ください。

※このままFAXにて平成24年1月10日(火)までに送付して下さい。会場の駐車場に、限りがあるため公共交通機関等の利用をお願いいたします。

●福島県耐震化・リフォーム等推進協議会は、平成19年8月29日の設立総会以来、以下のような取組みを行っております。

1. 相談窓口の設置

当協議会の主たる事業として、公平・透明な「しがらみのない相談窓口」を設置し、住宅や建築物の耐震化やリフォーム等に関するアドバイスを行っています。

平成19年度から実施している相談件数は平成23年度3月末現在で799件を越え、現在は被災住宅の相談が中心で1,500件を超えております。

また、相談は窓口のみならず、啓発活動の一環であるイベント参加でも実施しております。

2. セミナー・講習会・イベントの実施

消費者向けに、高校生が参加する「地域防災授業」をはじめ、昨年に引き続き「長寿命化リフォームセミナー」や「耐震化リフォームセミナー」を県内4ヶ所で開催。事業者向けに「建築物耐震化講習会」や「建築士事務所協会キャンペーン・講習会、新素材・新工法説明会」を開催しました。また、消費者と事業者を対象に「空き家古民家リフォームセミナー」や「住宅リフォームフェスタ」などのイベントを実施し啓発に努めました。

3. 耐震リフォームの啓発活動

消費者を対象とした啓発パンフレットは、下記の会員である金融機関、商工団体、公共団体、建築関係団体等を中心に配布を行うと同時に、当協議会ホームページとリンクしながら消費者への啓発・広報の効率化や会員との情報交換のツールとして役立てております。

福島県耐震化・リフォーム等推進協議会(事務局／福島県建築安全機構)

福島県耐震化・リフォーム等推進協議会は、住宅・建築物の耐震化リフォームを推進するとともに、県民の皆様からの住宅相談等にお応えするために、福島県・市町村・商工金融機関及び建築関係団体で構成する信頼できる組織です。

◎主な構成団体

福島県、県内各市町村、国立大学法人福島大学、日本大学工学部、公立大学法人会津大学短期学部、東邦銀行、福島銀行、大東銀行、福島県信用金庫協会(福島・二本松・郡山・須賀川・白河・会津・あぶくま・ひまわりの各信用金庫)、東北労働金庫福島県本部、福島県商工会議所連合会、福島県商工会連合会、東北電力株式会社福島支店、社団法人福島県宅地建物取引業協会、社団法人全日本不動産協会福島県本部、社団法人福島県建設産業団体連合会、社団法人福島県建築士会、福島県建築設計協同組合、福島県総合設備協会、社団法人福島県建築大工業協会、(全建総連福島)福島県建設労働組合連合会、福島県アスベスト処理協会、NPO法人循環型社会推進センター、財団法人ふくしま建築住宅センター、社団法人福島県建設業協会、社団法人福島県建築士事務所協会、一般財団法人福島県建築安全機構